

生産拡大 所得増大 ニンニク若手 害虫に備え
～「次世代にんにく塾」講習会～

JA本店で8月19日、「次世代にんにく塾」講習会を開き、参加の若手農家ら20人が近年被害が深刻になっている、イモグサレセンチュウの対策を学びました。

講習会では、上北地域県民局農業普及振興室の山下のぞみ主幹が、種子消毒の徹底や農作業機械等に付着した土砂の洗浄、早めの収穫・出荷など防除対策を説明しました。

講習会場にはイモグサレセンチュウを見るための顕微鏡や被害にあったニンニクのサンプルを用意。参加者は自分の目と鼻で良品質なニンニクとの違いを確認し合いました。



▲健全なニンニクとの違いを確認する参加者

■小麦 作柄上々

～検査1等5割超～

JAの藤坂・赤沼のカントリーで8月22、23の両日、令和元年産小麦の検査を行い、1等の格付け割合が5割超と上々の作柄でした。

管内の生産者戸数は64戸、作付面積161㌔、収量が436.2ト。十和田地区が9割近くを占めます。

刈り取りは7月中旬に行われ、カントリーエレベーターに搬入、乾燥・調製後に検査を実施。農産物検査員を務めるJA職員らが形質や水分、容積重などを検査しました。

主力品種「ネバリゴシ」は、エコープマーク品の「なべ焼きうどん」や「焼きそば麺」などに使用されています。



▲小麦の品質をチェックするJA職員

生産拡大 所得増大 土づくり、種子消毒 重要!
～ニンニク植え付け前講習会～

上北支店で8月26日、ニンニク栽培講習会を開き、参加農家11人が大玉生産に向け植え付け前の土づくりや種子消毒の注意点などを学びました。

講習会では上北県民局農業普及振興室の担当職員が物理性、化学性、生物性の3つの改善が良品質大玉生産のポイントと説明。土づくりでは、土壌によって肥料成分をつかむ力が異なるため、土壌診断結果に従い改善に努めること。種子消毒では、液剤の浸漬後の風乾が重要と話しました。

植え付け前講習会は管内7ヵ所の支店・事業所で実施。植え付けは、9月下旬から10月上旬にかけて行われます。



▲土づくりと種子消毒のポイントを学ぶ参加者

生産拡大 所得増大 ジャガイモ加工向け 出荷盛ん

～横浜町のまつりで特産PR～

横浜町支店管内で7月下旬から8月いっぱいにかけて、契約加工パレイショの収穫が行われました。本年産は、大きさや形のそろいも良好。JAではスライスして揚げた際の色具合をチェックし、契約先各社の工場へ直送しました。

同支店管内の生産者戸数は29戸、作付面積100㌔。JAでは日量4,000ト出荷で年間取扱高1億8,000万円を見込んでいます。



▲パレイショをトラックに積み込むJA職員



▲芋煮を振る舞ったイベント会場

同支店と野菜振興会横浜町支部では8月14日、同町美保野公園で行われた町主催の「横浜町ふるさとのまつり」に参加し、来場者に芋煮1,000食を無料で振舞い、特産ジャガイモをPRしました。

生産拡大 所得増大 ネギ8億5,000万円超えを
～「ぼけしらず」目ぞろえ～

当JAは8月6日、十和田やさいセンターでブランドネギ「ぼけしらず」の目ぞろえ会を開きました。集まった生産農家100人は、品質基準の他、湿度が高いと発生しやすい軟腐病対策を学びました。高い市場評価を維持するため、JAでは選果・選別、水切りの徹底を呼び掛けています。作柄は細め傾向で例年並みの7月中旬から出荷が始まり、9月初旬にピークを迎えます。出荷は12月まで続き、JAでは年間取扱高8億5,000万円超えを目指します。



▲品質基準を確認する生産者

生産拡大 所得増大 「一球入魂かぼちゃ」食卓に
～風乾でうま味凝縮 甘くほくほく食感～

むつ支店管内で、8月中旬から8月末まで「一球入魂かぼちゃ」の収穫が行われました。収穫後の風乾で追熟させて糖度が増したカボチャは、ほくほくとした食感が特徴で、消費者から根強い人気があります。

今年は大きさ、実の締まりも良く、量、重さも十分。同市奥内地区で栽培する立花勇子さん(78)は同月8日、姉妹5人で3分の収穫を終え、風乾前の茎の切り取り調整をしました。立花さんは「日焼けもなく上出来。300球の出荷を目指す」と意気込んでいました。



▲風乾前に茎の切り取り作業を行う立花さん姉妹

【総務部】合併10周年 士気高め

～全事業 目標必達誓う～

当JAと子会社は8月21日、本店で令和元年度の「事業必達総決起大会」を開きました。役職員、子会社社員ら300人が出席し、農業所得の増大を最大目標とする令和元年度の各事業部門の取り組み重点事項などを確認。JA合併10周年の全事業目標達成に向け、役職員・社員が士気を高めました。

JAの竹ヶ原幸光組合長は「過去9年間で内部留保は40億円に増え、県内トップクラスの資本額に増強できた。健全経営によってより良い組合員サービスが提供できる。明るい職場づくりに努め、一丸となって自己改革を進め、事業達成をめざそう」と呼びかけました。

あぐれっしゅ情報①/JA自己改革の取り組み



▲事業必達へ団結を強めた職員

職員を代表して、共済部共済推進課の上坂和美係長が「当JAの強みである横の連携をさらに強化し、全員全力で目標達成をめざそう」と宣言し、役職員全員のガンバロウ三唱で氣勢を上げました。

やさい販売要請報告

JA自己改革(市場調査)

指導やさい部/やさい販売課

日程: 令和元年8月22日(木)～24日(土)
 担当職員: 指導やさい部やさい販売課長 紺野 薫、
 ももいし支店営農経済課(野菜センター) 野村和也
 同行者: 全農あおもり 訪問市場: 関西・中京・関東地区の6青果市場

『主要やさい品目の市場動向及び今後の販売について』

《ナガイモ》

本県・北海道産ともに出荷が増え、太物のC品中心の残荷と暑さによる品質不良も散見される。9月以降も厳しい販売環境が予想されるが、継続した売場確保に向け消費宣伝会や特売企画の提案を要望した。

《ニンニク》

香川県産の乾燥品が入荷残状態にあるが、本県産への切替えが進み始めている。一方で、中間産地(宮城、埼玉、千葉等)のニンニクが安価で流通され、荷動きを悪くする環境を生み出している。他産地との差別化を図るため、市場からは発根を含めた出荷前の検品強化と速やかな調整出荷、選別指導を要望された。

《ダイコン》

本県産と北海道産は、高温干ばつの影響を受け、虫害・軟腐病の発生から品質が悪く、出荷量は昨年比に比べ減少傾向にある。9月以降は産地の気温が低くなることから生育が順調に進めば、品質が安定し価格の底上げが予想される。

《ネギ》

関東産の入荷量は潤沢で、引続き販売が苦戦すると見ている。市場からは、結束ネギの増量などを要望された。各市場には出荷量増となることを伝え、安定した価格でしっかり販売して欲しいと要望した。



猛暑日 冷たいビールで乾杯

～パーティーで事業PR～

当JAグループの(株)エコーは8月2日、JA本店でビールパーティーを開きました。この日は気温35度の猛暑日。農家組合員、地域住民ら250人が集い、冷たいビールでのどを潤し、仲間との交流を楽しみました。

地域住民にJA事業を知ってもらい、利用してもらおうと4年前から実施。毎年人気の抽選会では、JA-SSの給油券、お米、ペア宿泊券など豪華賞品が並びました。

市内から参加の50代男性は「暑い日が続いたのでビールがおいしい。仲間と飲むお酒は最高」と話し満喫していました。



▲ビールを楽しむ参加者



秋の収穫で挽回を目指そう

～下田支店・生産者の集い～

下田支店は8月20日、下田野菜センターでやさい生産者の集いを開きました。集まった農家や青果市場の関係者ら130人が、価格が低迷した春夏野菜の挽回に向け、焼き肉で交流を深めながら秋作業への士気を高めました。

主力作物のニンジン、ダイコン、キャベツは、5月の干ばつの影響を受け、3品目とも収量が前年同期比で1割減収。加えて、価格の低迷で7月末までの販売高は3億4,800万円と、前年同期比で1億円超の減額となりました。

参加の70代男性は「仲間と集まる機会は貴重で励みになる。秋作業も頑張りたい」と話していました。



▲焼き肉を楽しむ生産者



利用者に元気と活力を

～女性部が施設訪問～

女性部十和田支部三本木分会は8月28日、JAグループ(株)エコーが運営するデイサービスセンターつどいを訪問し、踊りを披露しました。会場は手拍子と笑顔が溢れ、利用者に元気と活力を与えました。

女性部8人は「かおり音頭」「おばこ恋唄」「七福神」など全6曲を披露。振り付けは歌詞に合わせて部員が考えました。

利用者は「とても綺麗だ。上手に踊っていて見ていて楽しい」と喜んでいました。



▲利用者に踊りを披露する女性部員



秋の収穫もガンバロウ!

～ももいし支店・生産者の集い～

ももいし野菜センターで8月30日、生産者の集いが行われ、参加の生産者や市場関係者ら120人が焼き肉や馬肉鍋、ダイコン入りカレーを食べながら秋作業に向け英気を養いました。

ステージでは、参加者によるカラオケ大会や抽選会も行われました。青果市場、運送会社などが協賛した大抽選会では、豪華景品が130点並び、玄米30キや「十和田湖和牛」の牛肉、果物1ケースなどが当たった際に歓声が沸いていました。



▲大抽選会で「十和田湖和牛」の牛肉が当たり大喜び

企画部/産直準備室
 ファーマーズマーケット
『愛称』募集!

募集期間
 令和元年8月19日(月)～10月31日(木)必着

入賞発表
 入賞発表は、JA十和田おいらせ広報誌(1月号)、ホームページに掲載します。採用された愛称の著作権は、JA十和田おいらせに帰属します。

入賞賞品

最優秀作品 1名様 お買い物券5万円相当
 優秀作品 5名様 お買い物券5千円相当

応募方法
 応募チラシ、官製ハガキ、またはE-mailにて必要事項をご記入の上、ご応募ください。
 ①愛称 ②愛称の説明 ③住所 ④氏名 ⑤年齢 ⑥電話番号
 ※応募は、何点でも可とします。 ※愛称は、他に類似するものがなく、商標登録が可能なものに限ります。

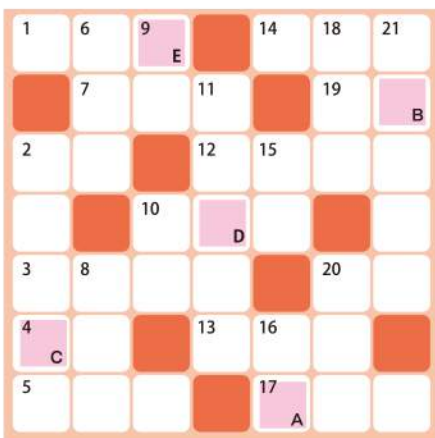
【JA十和田おいらせ 企画部 産直準備室 愛称募集係】
 〒034-0081 青森県十和田市西十三番町4-28 homioka@jatowada-o.or.jp
 TEL:0176-23-0312 FAX:0176-24-1829

応募先・お問い合わせ先

出題/ニコリ

頭の体操 パズル?

二重マスの文字を A~E の順に並べてできる言葉は何でしょうか?



頭の体操 パズル? 当選者発表

先月号のクイズの答え: サファイア
応募数/54通

各支店の夕涼み会が楽しそうです。秋作業もがんばってほしいです。
(65歳女性 十和田市)
夏の定番「焼き肉」は、みんなを笑顔にしますね。
(52歳男性 十和田市)
編)生産者の集いは、農家の方々とJAが交流できる貴重な機会です。これからも地域に密着した活動を続けていきます。

表紙の継承人の笑顔に惹かれていつも広報を手にとります。高校1年生で手伝いは、すばらしいです!ガンバ!!(60歳女性 横浜町)

編)素敵な笑顔ですね!これからもご愛読よろしくお願いします。

ベテラン農家からアドバイスを受けている三本木農業高校生の後ろ姿に未来を感じ、頼もしく感じました。
(73歳男性 十和田市)

「高校生レストラン」一度は食べてみたいです。(66歳女性 おいらせ町)

近隣の高校生たちの多方面の活躍をうれしく思います。
(73歳女性 七戸町)

編)これからも次世代を担う生徒たちの活動を応援していきます!

正解者プレゼント

正解者の中から抽選で10名の方に

QUOカード 1,000円分プレゼント

郵便はがきの料金が昨年から62円に変更となりました。料金不足の場合は、受け取りできませんので、ご注意ください。



応募締切 9/27 (金)

ヨコのカギ



- 1 島根県の観光名所、———大社。神無月には日本中の神様が集まるのだとか
- 2 大福餅の中身です
- 3 10月の第2月曜は———の日。国民の祝日です
- 4 絵画や色紙を入れます
- 5 江戸時代の旅人の履き物。二足の———
- 7 「カラスの足跡」と呼ぶシワができるところ
- 10 騎手たちが1着を争います
- 12 日本で3番目に広い湖
- 13 釣りで使う疑針のこと
- 14 一本釣りで知られる魚の一つ
- 17 京都三大祭りの一つ、———祭は10月に行われます
- 19 目で見える範囲の事
- 20 得の反対語

- ナカノワタリ マサル ●ミムラ サト ●スギモト トキコ
- ニイヤマ マキコ ●トマベチ ミチエ ●ヨネクラ ヨリコ
- イチサワ メグミ ●デミス カズコ ●アオキ カオル
- ツクダ カツコ 一敬称略

郵便はがき 62円切手 0340081

JA十和田おいらせ 企画広報課行 十和田市西十三番町4-28

●クイズの答え
●郵便番号・住所
●お名前(フリガナ)
●年齢・性別

本誌に関する感想や、日頃感じていること、伝えたいことなどございましたらお書きください。

【応募方法】ハガキ又はFAXで。 当日の消印有効
FAX/0176-24-1829

頂いた個人情報は、このたびの用途以外には一切使用いたしません。

タテのカギ

- 21 20 18 16 15 11 10 9 8 6 2
- だしで煮た鶏肉を卵でとじてご飯にのせる
炭酸水の事。クリーム
長崎県の北の端にある島
セイゴやゼンゴと呼ばれるうるうるこを持つ魚
王様の耳はロゼン
資源などを再利用すること
便箋に引いてある線
平仮名もアルファベットもこれの一種
サケなどの卵の塩漬け
建士が引いたり応じたり
『羅生門』『鼻』は龍之介の作品です

笑顔 さらめいて ふれあい 広場

十和田湖支店管内
父・枋木 司さん 母・佳央梨さん
組合員=上川原 利明さん

- 長女 香穂ちゃん (7歳)
- 長男 瞬くん(5歳)
- 次男 湊くん(1歳)



男の子2人は、とてもヤンチャで毎日が騒がしいです。冷静なお姉ちゃんに助けられています。3人とも残さずなんでも食べてくれるのでうれしいです。これからの好き嫌いせず元気に育ててね。(両親談)

地域の話

田んぼ かわいく彩る ~JA藤坂支店管内~

JA藤坂支店管内の水田に、十和田市六日町地区の住民グループがつくる田んぼアートが見頃を迎えました。6年目は、十和田市の観光名所の一つ、駒街道をPRするマスコット「駒松(こまつ)くん」をメインに市のシンボル「桜」と「紅葉」、「令和元年」が描かれてあります。



▲見頃を迎えた田んぼアート (8/19撮影)

市の多面的機能支払交付金事業(景観形成)を活用しての取り組みです。5月下旬に構成員ら37人が、10%の水田に地元産米「まっしぐら」のほか、白や黄、茶など色の異なる6品種の苗を植えました。稲刈りは10月20日を予定しています。

国道45号線を八戸方面に向かい、六戸町畑刈下の信号交差点(右手に「クリーニングのブルースター六戸店」)を右折して約1kmの場所にあります。
※Google Map「六日町田んぼアート」で検索できます。



写真提供=十和田土地改良区▶

花で「東京五輪2020」をPR ~十和田市板の沢地区~

十和田市の板ノ沢と、中板ノ沢の住民グループでつくる「板ノ沢農地水保全隊」は、市の多面的機能支払交付金事業を活用し、集落の花壇に五輪マークをデザインしました。同地区のJA女性部が中心になって花の植え付け、管理を行っています。



役員室のつぶやき Vol.55

組合員みなさまに、JA常勤役員を身近かに感じてもらうコーナーです!

「遠慮近憂(えんりよきんゆう)」
今や世界の主流となっている新自由主義・競争至上主義・弱肉強食主義に対して、それに対抗するための国連を中心とした協同組合への世界的評価が高まっている。

大企業を中心とした弱肉強食主義の横行は、人間性よりも経済を優先するもので、目先の企業利益を求め、人間らしい豊かな暮らしを遠のけていることが問題の根源。

その流れは、我が国政府が主導する農協批判や農協改革という協同組合否定、協同する組合ではなく競争する組合を政府が求めている姿と合致する。こうした風潮は、結局は目先の利益だけを追求し、未来を考えない愚かな行為であることを知らなければならない。例えば、一部の大規模な企業経営農業を追求する先には、地域における多くの多様な農業者を排除し、利益追求だけの農業経営は環境破壊や地域社会の崩壊に繋がる懸念される。その行き着く先には、地域社会や環境を守りながらの継続的な農業の発展はない。結果、家族が崩壊し、地域社会が衰退、限界集落が多発し崩壊する農村が多発する。農村が崩壊することは国防の危機となる。

こうしたことを「遠慮近憂(えんりよきんゆう)」という。この言葉の語源は孔子の論語にある。それは「子曰く、人にして遠慮(おもんばか)りなれば、必ず近き憂(う)いあり」。訳せば、人として遠くまで見通す考えが無ければ、必ず近いところで心配事が出てくる。我々が農協は協同組合として「組合員の営農と暮らしを守る」という遠い未来の目標を定めて、継続した自己改革の取り組みをすすめることである。

代表理事専務 小林 光浩

編集者の日和日記

各地域の秋祭り、各集落では神社の例大祭と、家内安全や五穀豊穡などを祈り・祝う祭典が続く。地域住民が集い、触れ合い、懐かしい顔と再会する。この先も後世に受け継がれてほしい伝統文化だ。

当JAも8月下旬の支店まつりに始まり、10月のJA収穫祭など12月にかけてイベント・式典が続く。JA職員、生産者が「多くの人たちが集い、喜ばれる催しを」と考え、準備を進めている。T

指導 やさい部 令和元年産ニンニクの販売仮渡金変更について

1.販売仮渡金(乾燥ニンニク10kg/1箱あたり)(単価:円)

等級/階級	2L	L	M
A	9,000	8,000	6,000
B	7,000	6,000	4,000
C	4,000	3,000	

2.適用日:令和元年9月1日(日)集荷分より次期改定まで

指導 やさい部 秋の農作業 安全運動展開中!

地域全体で注意を呼びかけましょう!

9~10月は、稲刈りやニンニクの植付け等、農業機械を使うことが増え、農作業事故の発生が増加する傾向にあります。熟練した作業であっても安全対策をしっかりととして作業するようにしましょう。



- 路肩に雑草が繁茂している狭い道では、一旦作業機から降車して道幅や路肩状態を必ず確認しましょう(降雨後は特に注意)。路肩にポール等の目印を立てるとより分かりやすくなります。
- コンバインでの手こぎ作業時は巻き込まれ防止のために手は機体の外に出るようにすること。
- 日没が早いので、道路走行時は早めのライトと反射板により追突防止対策を取りましょう。

乳幼児専用オムツ替え台を設置

本店1階東側の多目的トイレに乳幼児専用オムツ替え台を設置しました。多目的トイレは妊婦、高齢者、車いすご使用の方、どなたでもご利用になれます。



議案

- ▶合併10周年記念JA収穫祭の開催を承認する
- ▶令和元年産米共同計算取扱規程の設定を承認する 一ほか

報告事項

- ▶内部監査の結果について
- ▶総代選挙の結果について 一ほか

議案第1号

- ▶平成30年度決算監査「IVその他改善を要する事項」に対する回答について 一ほか

理事会だより(第5回:8月29日)

監事会だより(第5回) 理事会終了後、本店2階常勤監事室・監査課で実施

子会社 通信

(株)協同サービス

主な事業内容 葬祭業、生花部(フラワーハウスあぐり館)、酒類販売部(酒の藤坂店) 十和田地域広域斎苑指定管理

◎終活セミナー2019 テーマ「今の自分整理」

講師:(株)JA東京中央セレモニーセンター 代表取締役社長 丹野浩成氏

日時 9月23日(月)秋分の日 9時30分から
場所 まごころホール十和田 参加無料
(十和田市大字三本木字稲吉15-290)

お申込み、お問い合わせは協同サービスまで 住所 十和田市西十三番町4-33 TEL:0176-21-1500

電話での受付となります。定員100名様 締め切り抽選後、入場券の発送となります。 100人に達しない場合は、セミナー前日まで受け付けますので、ご希望の方は、ご連絡・ご確認下さい。

(株)エコー/旅行センター

主な事業内容 生産資材の卸、燃料事業、農機具・自動車販売・修理 福祉事業、旅行事業 など

魅力満載の「梅沢富美男劇団」 観劇と気仙沼温泉二日間の旅

旅行実施日 2019年11月8日(金)~11月9日(土) 1泊2日

旅行代金 お一人様 31,000円

コース①JA各支店一金婚亭(昼食)~奥州市文化会館(梅沢富美男劇団観劇)~気仙沼温泉(宿泊) ②ホテル~海の市(買物)~東日本大震災遺構・伝承館(見学)~気仙沼大橋~大船渡(昼食)~JA各支店

乗車人員/40名様(最少催行人員/35名様) 申込締切日/2019年10月4日(金)

乗務員/全行程同行いたします。 乗車条件/朝1回・昼2回・夕1回

利用ホテル/サンマリン気仙沼ホテル観洋 乗客バス会社/十和田観光バスまたは三八五バス

詳しい旅行条件を説明した書面をお渡ししますので、事前にご確認の上お申し込みください。

出発場所・時刻は改めてご案内します。 別添チラシをお渡ししますのでお問い合わせ下さい。

旅行企画・実施 観光庁長官登録旅行業第939号 株式会社 農協観光 青森支店

お申し込み・お問い合わせ先 観光庁長官登録旅行業第939号 株式会社 農協観光 代理店 青森県青森市東通町13号 JA十和田おいらせ旅行センター

TEL:017(729)8800 TEL:0176(23)0374

農業総合 支援室

体験型婚活イベント

トワーレdeアモーレIII ~あいのりphotoバスツアー~

申込期限 10月25日(金)まで 参加費:1人3千円

バスツアーと写真撮影(風景等)を楽しみませんか

- ①石窯ピザで昼食 ②苔玉作り ③奥入瀬溪流散策 ④交流会

日時:令和元年11月9日(土)10時~19時 場所:市民交流プラザ トワーレ
定員人数:男女各12人(男性はJA十和田おいらせ管内の青年部、管内の農業後継者に限ります)
申込方法:電話、FAXもしくは当JAホームページの参加申込みにてお申込みください。
お問い合わせ先:農業総合支援室 TEL:0176-23-0315 FAX:0176-23-0411

米 穀 畜産部

8月 県家畜市場子牛販売成績(黒毛和種) / 開催日:令和元年8月9日

[当JA管内]		(金額:千円)						[地区別]		(金額:千円)						
種雄牛	販売金額	雌			去勢			地区	販売金額	雌			去勢			
		上場頭数	高値	平均	上場頭数	高値	平均			頭数	平均価格(千円)	平均体重(kg)	平均日齢(日)	頭数	平均価格(千円)	平均体重(kg)
第1花国		11	762	607	13	1,203	899	十和田地区	39	642	287	309	52	776	325	302
百合白清2		5	1,020	760	8	1,123	921	十和田湖地区	12	735	290	311	18	827	321	305
美津照重		5	699	593	8	1,012	842	むつ地区	14	618	297	311	30	759	321	303
諒太郎		4	1,211	832	5	730	637	青森県全体	198	612	292	310	288	753	322	300
勝早桜5		5	737	643	3	1,001	848									
計		30			37											

1種雄牛上場 上位5頭を記載/JA取り扱い分 ※5種混合ワクチン及び、キャトルウィン5HSの接種が上場条件。

10月市場開催日/令和元年10月11日(金)